

那須烏山市学校適正規模・適正配置等に係る意見交換会 意見回答一覧

日 時：令和7年11月26日（水）17：30～19：40

場 所：境小学校 多目的ホール

出席者 保護者：11名 事務局：4名 学校：3名

番号	ご意見	回答
1	答申が出ただけで統廃合は決定事項ではないということでよいか。	おっしゃるとおり。
2	保護者との意見交換会は今回が初めてか。市ホームページの令和5年頃の境地区市政懇談会での意見への回答で、境小学校は複式学級になっており、保護者等に今後の子どもの育成について相談しているとあるが、いつ相談したのか。保護者と意見交換をしていると認識できるが回答者は誰か。	令和5年度に適正規模等検討委員会は始まっているが、保護者との意見交換会は実施していなかったため確認する。 [確認事項] 令和6年11月22日開催の境地区市政懇談会での意見・回答であり、令和5年11月から自治会等代表、学校関係者、市立学校PTA代表等で組織する適正規模等検討委員会を設置し、適正規模・適正配置の基本的考え方、具体的方策について検討を行っていること。また、令和4年にアンケート調査を実施しており、このアンケート結果も踏まえ検討していること。答申後に意見交換会等の実施を予定していること。これらを踏まえ「保護者等に今後の子どもの育成について相談しているところ」との回答となっている。
3	学校を残すとかなりの経費が必要というと、境小の人達にお金をかけるのがもったいないと聞こえる。統廃合で経費をどうにかしたいのは本音としてあるのか。	経費の問題をもって統廃合しようとする考えではない。
4	公共施設総合管理計画で施設更新の財源確保は困難になると予想されるとある。令和4年3月の改訂で、「地元住民や保護者のニーズを踏まえつつ」の文言が消されていた。市としては、学校等施設の統廃合をしたいのだと思った。（意見）	－
5	複式学級が定着し、先生方もフォローし合い特に問題ないように思う。学校では複式学級に問題があると感じる部分はあるか。	資料の説明のとおりメリット・デメリットはある。境小学校でも限られたスタッフで子ども達への対応が手薄にならないよう何とかやりくりをしている状況。現実的に児童数が増えれば活動が広がり、色々な事ができるという思いはある。ただ、一長一短なところがあるので、どちらがベストという答えは出せない。

番号	ご意見	回答
6	複式学級は先生方の負担になっている部分はあるのか。	本来は学級規模に応じて教員数が決まる。複式学級でも手厚く配置できればきめ細やかな教育ができるが、他の学校との配置のバランスも考える必要があり、境小学校のみを増やすことが難しい。実際には、小規模特認校であったので手厚い支援ができていたため、うまくいっていたと思う。
7	小規模特認校の説明がホームページで取り下げられていたのはなぜか。	英語学習について、現在は境小学校と同じようにどの学校も取り組んでいるので、境小学校だけ特別ということがないため取り下げた。ただ、今でも英語学習はALTに来校してもらい、手厚く支援をしている。 [確認事項] 市のホームページには掲載されている。学校ホームページでは、日付が記載された募集のチラシを掲載していたため取り下げている。
8	小規模特認校は複式学級を解消する目的がある。現時点で複式学級は解消されていない。これまでどのような対策を行ったのか。	ホームページの掲載、チラシの配布の他、相談会を、令和4年度に2回、令和5年度に1回実施した。宣伝不足的なところはあったかもしれない。
9	小規模特認校について、開始時の意図や整合性に関し、どこで議論され、なぜ始めたのか。小規模特認校の取組を2年で諦めることは保護者として悔しい思いがあり、募集が進む一方で統廃合を検討するスタンスに対して不信感を抱く。英語の授業は増えたが、その成果は定量的データが示されず取組の価値が実感できなかった。英語だけでなくICTを含むテーマで特認校として取組むべきだった。10年後には、市内のほぼ全ての小学校が小規模になることを踏まえた上で、統廃合ではなく、現時点でできることについて検討すべき。	境小学校の複式学級が見込まれる段階で、教育の質を担保するため小規模特認校を検討した。募集の範囲をどこまでとするかが大きな課題となったが、近隣自治体も少子化が進んでいるので、子どもの取り合いになることを考えると、まずは市内を対象に小規模の良さに賛同できる方に来てもらうこととした。境小学校の良さを活かし、他の学区から来られるようにして始まったものだが、取組の成果が見えていない点は申し訳なく思う。特認校の話をしながら同時に統廃合の話になっていることは、時期が重なり誤解を与えてしまった。
10	境小学校の統廃合による地域コミュニティへの影響が懸念される。学校適正規模等検討委員会は統廃合ありきで進められたものと捉えている。小学校がないところに移住する現役世代はいないし、避難所の観点からも小学校の機能を維持しないと避難場所がなくなる。体育館にエアコンがないと真夏に安全確保もできない。	統廃合ありきではない。本日も答申の話であって、保護者の意見を聞いて検討すべきと考えている。子ども達が楽しく学校に通えることを目標に動いているので、移住やライフラインの施策については、今後、皆様の意見を集約し、最終的に方向性が決まったら考えていく。地域住民の元気がなくなってしまうことがないように市長部局にも働きかけたい。

番号	ご意見	回答
11	学区が広がることで、下校後やクラブ活動の場が制限され、子ども達が友達を作る場がなくなる。児童館と図書館が一体となった施設があったらいいと思う。また、学区が広がることで、災害時等で車が使えない時に親は子どもの迎えをどうするのか。	施設は関係課と相談していきたい。災害時の送迎等、どうしても迎えに行けないこともあるので、学校では緊急時は学校に待機するように対応してもらっている。先生方の協力で子ども達の安全安心を守っている状況もあるため、今後の課題として考えていきたい。
12	人口減少が進んでいく中で、今後市内で1つの小学校、中学校になる可能性はあるのか。10年ではなく、20、30年先を考えていかなければならない。	いきなり1つにすることは難しいので、人口推移を注視しつつ、学校と意見交換しながら将来的に考えていかなければならない。20年先の話となると、人数的には市内で小中学校1校ずつになるかもしれない。色々な学校の形態があるので、義務教育学校等も検討していく時期は来ると思う。
13	境小学校は児童数が1番少なく、統合の可能性があるとのことだが、最短だとどのくらいで統合する可能性があるのか。	議会・地域・統合先への説明や学校の方針の調整、例規整備等を踏まえると約2年にかかる。過去の事案では最短で約1年半である。
14	境地区から烏山小学校へ通っている人数がどのくらいいるのか。	正確な人数は把握していないが、何名かはいる。家庭の事情によるものなので、境小学校に戻れるかという点と難しい状況である。
15	全国的に少子化で子どもが減少している状況の小学校はあると思う。そういったモデル校は調査しているのか。	調査はしていないが、県内で同じような状況の所は、小中一貫、義務教育学校という形態をとっている。小規模特認校を実施している市町もあるが、市町全体の人口が減っているので、子どもの取り扱いになるという課題がある。全国的に見ると小規模にも関わらず、頑張っている学校はたくさんあるが、統廃合できない状況が背景にある。近くの学校まで移動時間が2時間、豪雪地帯、離島等の理由で残してあるというのは事実としてあり、小規模でも学校を残すと頑張っている自治体もある。
16	小規模特認校になった時、制度利用の児童で市街地に居住の場合は親の送迎という話であった。市街地にバス停を設ければ、経費はかかるが人も増えたと思う。(意見)	—
17	今後、他の学校でも意見交換会を行うのか。	行うことで考えている。
18	保護者からすると早い段階で、そうした状況が分かっていると動きも変わると思うので、適切なタイミングで動いて欲しい。(意見)	—
19	小規模特認校のPR不足、実情の未調査について、今後実施するのか。	実際にPRをすれば集まるのかということ、他の地区も子どもの数は減っていることもあり、難しいと考えている。

番号	ご意見	回答
20	適正規模等検討委員会の1回の会議時間はどのくらいか。	2時間ほどである。
21	適正規模等検討委員会の答申書提出はプレスリリースして行っただが、その経緯は。	答申の提出日が決まり、プレスリリースを行った。正式なものを受け取るため、情報に対し丁寧に取り扱う必要がある。
22	今年の夏は暑く、体育ができない日もあったかと思う。先生から見て体育館にエアコンは必要だと思うか。	もちろん必要で、市にも要望している。
23	避難所の観点からエアコン設置の下調べは済んでいるのか。設置は早くて何年後か。	何年後とは答えられない。国の補助金の期限が令和15年であり、そこが最低ラインではないかと考えている。要望はしているが、来年できるかというところがある。
24	アンケートは統廃合ありきになっている。これを基に地域住民に保護者の考えとして説明するのか。今回のような意見交換会を続けるのか。	欠席者も含めたアンケートの結果を踏まえて、来年1月に意見交換会を開催したい。アンケート結果はホームページへの掲載、リバーでの配信をする。
25	資料41ページの学校再編の効果の見通しのところで、教師に対する依存度の減少の部分で依存度という言葉が気になった。	例えば、ある児童が特定の先生に依存してしまっ、他の先生では対応できないという事例が全国的にある。
26	この意見交換会は統合を目的にしているのか、複式学級の存続を目的にしているのか。	答申の中に複式学級の解消があり、この考えを基にまずは保護者に理解いただきたい。その中で、保護者から学校を存続させたいということであれば、そちらは検討しないということではない。
27	意見交換会なので、学校を残すなら残す理由を伝えるべきだと思う。まず問題になるのは、学校の経営だと思う。経営していくと考えた時に、誰かを筆頭に話し合っ、子どもが学びたいという気持ちがあるならそのままいいというような話し合いが必要である。人口減少は止められない。住んでいる人達の中で幸福を作っていくことにフォーカスしなければならない。局所的に見ず全体的に見た時に、自分達で最小限の中での価値を詰めていかなければならない。広い視点で目的をはっきりさせて考えることが肝要である。	保護者の中でもどちらがよいか葛藤があるかと思うが、中心に考えて欲しいのは子ども達である。幸せな学校生活を送るためには、どうしたらよいかに焦点を絞って欲しい。小規模でのびのびとするのか、大人数で切磋琢磨し社会性を身に付けさせるのか、色々な方面から考えて結論を出さなければならない。

番号	ご意見	回答
28	今でも烏山小学校に行くことは可能か。	学区外就学の条件を満たさないといけない。 そこから教育委員会の議案として提出し承認されれば可能である。